システム ライセンスの設定

- システム ライセンスの概要，1 ページ
- システム ライセンスの前提条件，2 ページ
- システム ライセンス設定のタスク フロー，3 ページ
- ライセンス連携動作と制限事項，8 ページ

システム ライセンスの概要

システムでは一元化されたライセンス管理が使用されるため、ライセンスの使用は、デバイスベースのライセンスからユーザベースのライセンスに移行します。このユーザ中心のモデルは、システムの全体的な要件およびユーザが実際に使用する内容（1 人のユーザと関連付けられている複数のデバイスなど）に合致します。このモデルでは、システムのライセンスは、ユーザ自体、ユーザ機能、および設定済みデバイスの総数によって決まります。

ユーザのニーズをカバーするために、次のライセンス オプションを使用できます。

Cisco Unified Workspace Licensing

Cisco Unified Workspace Licensing（UWL）は、シスコ コラボレーション アプリケーションおよびサービスの最も一般的なバンドルをコスト効率の高いシンプルなパッケージで提供します。このパッケージには、ソフト クライアント、アプリケーション サーバ ソフトウェア、およびユーザごとのライセンスが含まれています。

Cisco User Connect Licensing

個々の Cisco Unified Communications アプリケーションに対するユーザベースのライセンスで、アプリケーション サーバ ソフトウェア、ユーザ ライセンス、ソフト クライアントが含まれています。User Connect Licensing（UCL）は、必要なデバイスのタイプとデバイスの数に応じて、Essential、Basic、Enhanced、および Enhanced Plus の各バージョンから選択できます。

これらのライセンス タイプと使用可能なバージョンの詳細については、http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/unified-communications-licensing/index.htmlを参照してください。

Cisco Prime License Manager

Cisco Prime License Manager は、システム内にある全 Cisco Unified Communications Managers のすべてのライセンス要件を統合して、インストールされている使用可能なライセンスの数と全要件を比較します。システムのユーザ、電話、またはその他のサービスをプロビジョニングする際にライセンス要件が計算されます。この手順の後、対応するライセンス要件が Cisco Unified Communications Manager から Cisco Prime License Manager に送信されます。その後、インストールされている使用可能なライセンスとシステムのライセンス要件が比較されて、ライセンスが適合であるか、非適合であるかの報告が返されます。データは継続的に同期され、システム ライセンスのスナップショットは最新の状態で維持されます。

システム ライセンスの前提条件

- Unified Communications （UC）のライセンス構造を理解します。http://www.cisco.com/c/en/us/products/unified-communications/unified-communications-licensing/index.htmlを参照してください。
- Cisco Prime License Manager のインストール手順を実行します。この手順の詳細については、http://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/prime-license-manager/products-user-guide-list.html で『*Cisco Prime License Manager User Guide*』を参照してください。

以前のリリースからライセンスを移行する場合、次の要件を確認します。

- License Count Utility（リリース 6.x ～ 8.x まで）からレポートを実行します。このツールの使用方法については、『*Using Cisco Unified Communications Manager License Count Utility*』を参照してください。 http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html
- アップグレードする前に、すべての 9.x 以前のライセンスを Cisco Unified Communications Manager に適用します。
- シスコ デバイス割り当てツール を実行することでユーザとデバイスと一致させます。このツールの使用方法については、http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/

unified-communications-manager-callmanager/products-installation-and-configuration-guides-list.html で『*User Guide for Cisco Device Assignment Tool*』を参照してください。

移行のサポートを受けるには、次のいずれかのオプションを選択します。

- 次の Web サイトでサービス要求を作成します： https://tools.cisco.com/ServiceRequestTool/scm/mgmt/case
- licensing@cisco.com でサービス要求を作成します（Cisco.com ユーザ ID を含めます）。
- 次の Web サイトに示されている国別番号に電話をかけ、サービス要求を作成します： http://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html

システム ライセンス設定のタスク フロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Cisco Prime License Manager へのクラスタの統合, （3 ページ）	Unified Communications Manager パブリッシャ ノードを製品インスタンスとして Cisco Prime ライセンス マネージャに追加します。このタスクによって、2 つのシステム間でライセンス要件と使用状況が確実に同期されます。Cisco Prime ライセンス マネージャは、24 時間ごとにシステムをポーリングします。パブリッシャ ノードを追加することで、クラスタを追加します。
ステップ 2	クラスタの同期, （5 ページ）	すべてのデバイス データをクラスタからアップロードして、ライセンス マネージャがライセンスを割り当てられるように、クラスタと Cisco Prime ライセンス マネージャを同期します。
ステップ 3	ライセンス計画の作成, （5 ページ）	システムの新しいライセンスを取得するには、ライセンスの追加ウィザードの手順に従い、ライセンス要求を準備します。
ステップ 4	ライセンス ファイルのインストール, （6 ページ）	ライセンスの履行手順に従い、システムの適切なライセンスをインストールします。これらの手順によって、システムのコンプライアンスが確保されます。

Cisco Prime License Manager へのクラスタの統合

Unified Communications Manager パブリッシャ ノードを製品インスタンスとして Cisco Prime ライセンス マネージャに追加します。このタスクによって、2 つのシステム間でライセンス要件と使

用状況が確実に同期されます。Cisco Prime ライセンス マネージャは、24 時間ごとにシステムをポーリングします。パブリッシャ ノードを追加することで、クラスタを追加します。

はじめる前に

追加する製品インスタンスに残りのライセンスをインストールします。このステップによりライセンスが移行に適していることを確認できます。

次のコマンドを使用してアカウントのステータスを確認します。**show accountlocking**製品インスタンスの追加時に 401 エラーが発生しないようにするには、アカウントのロック設定を **disabled** に設定する必要があります。

手順

ステップ 1 インストールが完了したら、作成したアプリケーション ユーザ名とパスワードを使用して Cisco Prime License Manager にログインします。

ステップ 2 [製品インスタンス（Product Instances）] を選択します。

ステップ 3 [追加（Add）] をクリックします。[製品の追加（Product Add）] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4 次の情報を入力します。

- [名前（Name）]
- 説明（Description）（任意）
- [製品のタイプ（Product Type）]
- ホスト名/IP アドレス（Hostname/IP Address）
- [ユーザ名（Username）]
- [パスワード（Password）]

（注） クレデンシャルとは、製品の OS 管理者のユーザ名とパスワードのことです。

ステップ 5 [OK] をクリックして、製品インスタンスを追加します。

ステップ 6 製品インスタンスが追加された時点で、製品が [製品インスタンス（Product Instances）] テーブルに表示されます。

（注） [製品インスタンス（Product Instances）] ページで [今すぐ同期（Synchronize Now）] をクリックし、新しい製品のライセンス情報を要求します。同期させないと、次回のスケジュールされた同期が完了するまで、Cisco Prime License Manager に最新の製品インスタンス情報が表示されません。

次の作業

クラスタの同期, （5 ページ）

クラスタの同期

すべてのデバイスデータをクラスタからアップロードして、ライセンスマネージャがライセンスを割り当てられるように、クラスタと Cisco Prime ライセンス マネージャを同期します。

はじめる前に

Cisco Prime License Manager へのクラスタの統合, （3 ページ）

（注） 複数のクラスタがある場合、最初の同期を実行する前にすべてのクラスタを追加することを推奨します。

手順

ステップ 1 Cisco Prime License Manager で、[製品インスタンス（Product Instances）] を選択します。

ステップ 2 [今すぐ同期（Synchronize Now）] をクリックします。
同期が完了したことを確認するメッセージが表示されます。

次の作業

ライセンス計画の作成, （5 ページ）

ライセンス計画の作成

システムの新しいライセンスを取得するには、ライセンスの追加ウィザードの手順に従い、ライセンス要求を準備します。

はじめる前に

クラスタの同期, （5 ページ）

手順

ステップ 1 Cisco Prime License Manager の [ライセンス（Licenses）]>[計画（Planning）] ウィンドウで、[ライセンス追加計画の作成（Create an Add Licenses Plan）] をクリックします。

ステップ 2 [製品の選択（Choose Product）] セクションで、ライセンスを追加する製品の製品タイプとライセンス バージョンを選択します。[Next] をクリックします。

ステップ 3 [ライセンス数（License Counts）] セクションで、各タイプのライセンスに割り当てるライセンスの数を調整し、[保存（Save）]をクリックしてそのライセンスタイプに対する変更を保存します。また、[コンプライアンスチェックの実行（Run Compliance Check）] をクリックしてコンプライアンス チェックを実行したり、[値のリセット（Reset Values）] をクリックしてライセンスの値をリ

セットしたりすることも可能です。ライセンス数が設定されたら、[次へ（Next）] をクリックします。
各ライセンスタイプの横の矢印をクリックすると、そのライセンスタイプの詳細情報が表示されます。

ステップ 4 コンプライアンス チェックに合格しなかった場合は、[ライセンス数（License Counts）] に戻って追加の変更を行うことができます。コンプライアンスチェックに合格した場合は、[次へ（Next）] をクリックして次のセクションに移動します。

ステップ 5 [要約と次の手順（Summary and Next Steps）] セクションで、行った変更の要約を確認して保存できます。また、独自の要約名と説明を入力することも可能です。

ステップ 6 要約を表示するには、[要約の表示（View Summary）] をクリックします。デフォルトで、[Cisco Prime License Managerに要約を保存（Save Summary in Cisco Prime License Manager）] オプションが選択されます。また、要約のデフォルト名は、<product-type>-add-<date-time-stamp> のフォーマットで [名前（Name）] フィールドに表示されます。発注やライセンスの履行に関する説明も、このセクションに表示されます。

ステップ 7 [完了（Finish）] をクリックします。

次の作業

ライセンス ファイルのインストール，（6 ページ）

ライセンス ファイルのインストール

ライセンスの履行手順に従い、システムの適切なライセンスをインストールします。これらの手順によって、システムのコンプライアンスが確保されます。

はじめる前に

ライセンス計画の作成，（5 ページ）

手順

ステップ 1 Cisco Prime License Manager のメイン メニューから、[ライセンス（Licenses）]>[履行（Fulfillment）] を選択します。

ステップ 2 電子履行モードで、[ライセンスをPAKから履行（Fulfill Licenses from PAK）] をクリックします。

ステップ 3 [新しいPAKからライセンスを追加（Add licenses from a new PAK）] を選択し、製品認証キー（PAK）コードを入力します。
Cisco Prime License Manager で PAK を入力済みの場合は、[部分履行をサポートするインストール済みの PAK からライセンスを追加（Add licenses from an already-installed PAK that supports partial

fulfillment）] を選択できます。このオプションを選択した場合は、ドロップダウン メニューから既存の PAK コードを選択します。

ステップ 4 [Next] をクリックします。Cisco.com のアカウント情報を求められた場合は、Cisco.com に登録したときに入力したユーザ名とパスワードを入力します。

ステップ 5 [OK] をクリックします。
履行する残りのライセンスがある場合（およびPAK のユーザ名とパスワードが確認されている場合）、[ライセンスを履行（Fulfill Licenses）] セクションが表示されます。

ライセンスは、最初に発行された cisco.com のアカウントを使用しないと履行できません。

ステップ 6 PAK でライセンスは SKU 名別に表示されます。各ライセンスの数はいくつかの見出しの下に分類され、履行済みのライセンスの数と履行前の残りのライセンスの数が示されます。
履行するライセンスの数を指定するには、そのライセンス タイプの [操作（Actions）] 列で [履行（Fulfill）] を選択します。[ライセンスの履行（Fulfill Licenses）] ウィンドウで、ライセンスのバージョン、機能、または両方を指定し、[保存（Save）] をクリックしてから [OK] をクリックしてウィンドウを閉じます。これで、更新された数が、[ライセンスを履行（Fulfill Licenses）] テーブルの [履行（Fulfill）] 列に表示されます。

（注） 一部の PAK は、部分履行に適していません。これらの PAK はまとめてパッケージ化されているため、1 つのトランザクションの 1 つの Cisco Prime License Manager でのみ履行できます。たとえば、NFR（再販なし）の注文は 20 個の CUWL Pro Unified CM および Unity Connection ライセンス、5 個の TelePresence Room ライセンスが含まれるパッケージとして販売されています。

（注） （[ライセンスの履行（Fulfill Licenses）] テーブルの [履行前（Before Fulfillment）] で）ライセンスが [履行済み（Fulfilled）] と表示されている場合、それらのライセンスは、現行または別の Cisco Prime License Manager によってすでに履行されています。

（注） 選択したライセンスを履行したら、[コンプライアンス チェックの実行（Run Compliance Check）] をクリックして、適合していることを確認できます。

ステップ 7 [次へ（Next）] をクリックして変更を確認します。まだ変更する必要がある場合は、[前へ（Previous）] をクリックして [ライセンスの履行（Fulfill Licenses）] に戻ります。変更を完了した場合は、[次へ（Next）] をクリックして次のセクションに移動します。

ステップ 8 [ライセンスの履行（Fulfill Licenses）] セクションで [次へ（Next）] をクリックすると、[トランザクション オプション（Transaction Options）] と [使用許諾契約書（License Agreement）] セクションが開きます。このセクションでは、説明を入力できます（任意）。また、オプションを選択してドロップダウン リストからライセンス要約の名前を選択することによって、このトランザクションを保存されているライセンス要約に関連付けることができます。

ステップ 9 チェックボックスを選択し、エンド ユーザ ライセンス契約書の条項に同意します。

ステップ 10 [終了（Finish）] をクリックします。
電子履行プロセスが正常に完了すると、新しい履行が [ライセンスの履行（License Fulfillment）] テーブルに表示されます。

ライセンス連携動作と制限事項

• システム ライセンスの連携動作, （8 ページ）
• システム ライセンスの制限事項, （9 ページ）

システム ライセンスの連携動作

表 *1*：システム ライセンスの連携動作

機能	データのやり取り
エクステンションモビリティ（Extension Mobility）	Extension Mobility が設定されているが、デバイスに関連付けられていないユーザには、Essential ライセンスは必要ありません。
MGCP	MGCP FXS ポートは、アナログ電話であると見なされないため、ライセンスは必要ありません。
Telepresence Room	多目的 TelePresence デバイスとイマーシブ テレプレゼンス デバイスは、個別のデバイス ライセンス タイプの TelePresence Room ライセンスに基づいてライセンス付与されます。TelePresence Room ライセンスは、電話に入力されているユーザ ID と TelePresence デバイスの [オーナーのユーザ ID（OwnerUserID）] フィールドに入力されているユーザ ID が同じ場合のみ、TelePresence デバイスと登録済み電話の両方をカバーします。 TelePresense デバイスと電話の両方にオーナーのユーザ ID として同じユーザ ID が入力されていない場合は、デバイスと電話は関連付けられず、2 つのライセンスが必要となります。つまり、デバイス用に 1 つの TelePresence Room ライセンスと電話用に 1 つの拡張ユーザ接続ライセンス（UCL）が必要です。 TelePresence Touch デバイスは登録されないため、個別のライセンスまたはオーナーのユーザ ID との関連付けは必要ありません。

システム ライセンスの制限事項

表 *2*：システム ライセンスの制限事項

制約事項	説明
ユーザごとの最大デバイス数	必須、基本、拡張の各 User Connect License（UCL）は、関連付けられた 1 デバイスを使用するユーザをサポートします。そのデバイスでは、[OwnerUserId] フィールドに、ユーザ ID が入力されています。Enhanced Plus UCL ライセンスは、関連付けられた 2 デバイスを使用するユーザをサポートします。Unified Workspace Licensing（UWL）Standard および UWL プレミアムは、関連付けられた 3 から最大 10 デバイスを使用するユーザをサポートします。
製品認証キー	一部の製品認証キー（PAK）は、部分履行に適していません。これらの PAK はまとめてパッケージ化されているため、単一 Cisco Prime License Manager でのみ履行できます。たとえば、再販なし（NFR）の注文は 20 個の CUWL Pro Unified Communications Manager および Unity Connection ライセンス、5 個の TelePresence Room ライセンスが含まれるパッケージとして販売されています。